

## 《巻頭言》

## 日本禁煙学会「食と栄養部会」の発足にあたって

日本禁煙学会理事、食と栄養委員会委員長  
京都女子大学 家政学部食物栄養学科

宮脇尚志

喫煙行為は食行動や食事内容と関連することが多いとされます。喫煙者と摂取エネルギーとの関連を検討した研究<sup>1)</sup>や、喫煙欲求の増加や減少と関連する食事内容についての研究<sup>2)</sup>など、国内外で喫煙と食や栄養についてのさまざまな論文が報告されています。そのため、管理栄養士・栄養士をはじめとした食と栄養にかかわる専門職は、タバコの害についての知識を身につけ科学的根拠に基づいた禁煙活動を推進することが期待されます。また、禁煙指導は、不適切な行動を変容させるという観点から、病院や行政機関等で行われる栄養指導および栄養相談と同様の行動変容理論<sup>3)</sup>や手法が用いられることが少なくありません。

日本栄養士会では、管理栄養士・栄養士が国民の健康増進に貢献する専門職としてタバコ問題に積極的に取り組む必要があることから、2005年に「たばこ対策宣言」を行っています(表1)。また、2016年には、受動喫煙が原因での死亡者数が年間1万5,000人と推計された記事を紹介し、栄養指導の場などにおいても、管理栄養士・栄養士が本人に禁煙を促すのみにとどまらず、受動喫煙による家族や同僚の健康被害についても触れる必要があることを述べています<sup>4)</sup>。

一方で、近年では管理栄養士・栄養士による禁煙指導や禁煙推進活動への取り組みが必ずしも多いとはいえません。改正健康増進法の全面施行後においても、飲食店などにおける受動喫煙等においては未だ多くの課題が残されています。また、2020年11月現在の日本禁煙学会会員数(4,780名)に占める管理栄養士・栄養士の割合は0.7%であり、認定指導者(2,963名)に占める管理栄養士・栄養士の割合は0.6%に過ぎません。

そこで、この度、管理栄養士・栄養士をはじめとした食や栄養と関連する専門職や興味を有する専門職の方々を対象に、食や栄養との観点から禁煙指導、禁煙啓発活動および研究等を積極的に推進することを目標として、関係の皆様のご協力とご支援をいただき、日本禁煙学会に「食と栄養委員会・部会」を発足させることに致しました。

発足後は、食や栄養の専門職に携わる方々や飲食店の方々等に向けて、禁煙の重要性についての啓発活動を行い、合わせて、メンバーに対してのオンラインでの定期的な勉強会やメーリングリストによる情報交換、食事内容や食行動と喫煙との関連についての研究等について進めることができると考えています。

表1 日本栄養士会たばこ対策宣言

1. 私たちは管理栄養士、栄養士の禁煙を推進します。
2. 私たちは栄養指導を通して、食と関連した禁煙教育に積極的に取り組みます。
3. 私たちは、学校、企業、保健医療福祉施設における受動喫煙による健康被害の排除を推進します。
4. 私たちは栄養科学生の防煙・禁煙教育に積極的に取り組みます。
5. 私たちはあらゆる「たばこ」対策を積極的に支援します。

(社団法人 日本栄養士会 2005)

また、食や栄養を通じ健康を追求するためには、口から食事を摂取することが基本であることから、歯科領域の先生方にもこの会にご興味を持っていただけましたら有難いと考えています。

「食と栄養部会」は、職種に関係なくご入会できます。是非、ご入会いただきご支援いただけますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

「食と栄養部会」ホームページ：

<http://www.shokutoeiyou.jimdofree.jp>

(食と栄養委員会委員：2021.4.1現在)

赤嶺百子(管理栄養士)、坂手誠治(大学教員)、幣憲一郎(管理栄養士)、中山玲子(管理栄養士)、増

子佳世(医師)、水上由紀(管理栄養士)、宮脇尚志(医師)、山川房江(管理栄養士)、山代寛(医師)

#### 参考文献

- 1) 矢口(田中)友理, 石川仁, 邵力, ほか: 地域住民における喫煙習慣と栄養素ならびに食品摂取量との関連. 日栄・食糧会誌 2011; 64: 159-167.
- 2) McClellon FJ, Westman EC, Rose JE, et al: The effects of foods, beverages, and other factors on cigarette palatability. *Nicotine Tob Res.* 2007; 9: 505-510.
- 3) Prochaska JO, Velicer WF. The transtheoretical model of health behavior change. *Am J Health Promot.* 1997; 12: 38-48.
- 4) 日本栄養士会ホームページ：<https://www.dietitian.or.jp/trends/2016/14.html> (閲覧日：2021年5月18日)